

## 日本私立学校振興・共済事業団理事（管理担当）選任理由

本法人の使命は、学校法人に対する助成事業や私立学校教職員に対する共済事業を通じて、私立学校教育の振興を推進する業務を総合的かつ効率的に行うことにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、管理部門だけでなく私学振興事業を行う全ての業務について、筆頭理事として理事長を補佐し、法人運営の一層の合理化・効率化など本法人が抱えている諸問題に適切に対応し、その解決に向けてのリーダーシップをとることができる人材が求められる。

本件公募に対しては、82人の応募があり、選考委員会による書類選考で4人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た1人を理事長に提示し、これに基づき、文部科学大臣との協議を経た上で、理事長が石川明氏を選任したところである。

任命理由は、教育行政の場において組織のマネジメントの経験を有し、私学振興に関する業務にも長年従事するなど、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人の管理運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。特に同人は、明確なビジョンを持ち、課題を的確に把握するとともに、改革を推進することができる総合的能力に優れているという強みをもっており、文部科学大臣及び理事長もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

## 日本私立学校振興・共済事業団理事（個別業務管理担当）選任理由

本法人の使命は、学校法人に対する助成事業や私立学校教職員に対する共済事業を通じて、私立学校教育の振興を推進する業務を総合的かつ効率的に行うことにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、財務・施設管理・病院運営を統括する業務を行っており、特に私立学校を取り巻く社会環境が大変厳しい状況下において、本法人がより一層安定した事業運営を展開ができるよう年金資産の運用や学校法人への融資資金の確保など、安定的な財源確保を図りつつ、リーダーシップを発揮し、健全な事業運営を展開することが求められる。

本件公募に対しては、40人の応募があり、選考委員会による書類選考で4人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た1人を理事長に提示し、これに基づき、文部科学大臣との協議を経た上で、理事長が入江孝信氏を選任したところである。

任命理由は、国立大学法人及び複数の大学附属病院のマネジメントの経験を有し、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人の管理運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。特に同人は、財務・施設管理・病院運営の諸課題への適切な対応及び改革の推進ができる能力に優れているという強みをもっており、文部科学大臣及び理事長もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。